Sunhayato

製品安全データシート

1．化学物質等および会社情報

製　品　名　：　ゴーニーキューレイ
製品コード　：　QRK-S480
整理番号　：　SG087023
会　　社　：　サンハヤト株式会社
住　　所　：　東京都豊島区南大塚３丁目４０番１号
担当部門　：　本社　営業部
電話番号　：　03-3984-7791
F　A　X　：　03-3971-0535
用　　途　：　急冷剤
作　成　日　：　2009年07月07日
改　訂　日　：　2011年05月26日　　REV. 1.10

2．危険有害性の要約

GHS 分類　：　可燃性／引火性ガス　区分１
可燃性／引火性エアゾール　区分１
標的臓器／全身毒性（単回暴露）　区分３（麻酔作用）

ラベル要素
絵表示又はシンボル　：

注意喚起語　：　危険
危険有害性情報　：　極めて可燃性・引火性の高いガス
極めて可燃性・引火性の高いエアゾール
眠気またはめまいのおそれ
注意書き　：　使用前に取扱説明書を入手して下さい。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないで下さい。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけて下さい。－禁煙。
裸火または他の着火源に噴霧しないで下さい。
屋外または換気の良い場所でのみ使用して下さい。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないで下さい。
国地域情報　：

3．組成、成分情報

単一製品・混合物の区分　：　単一製品

化学名	HFC-152a
含有量（wt%）	100
官報公示整理番号	2-86
CAS No.	75-37-6
EINECS	200-866-1
PRTR 法	非該当

４．応急処置

目に入った場合	：	液体に接触した場合は直ちに清浄な流水で１５分以上洗眼し、速やかに医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	：	ガスの接触では障害を生じない。液に接触すると凍傷の恐れがあるので、濡れた衣類や靴及び靴下を直ちに脱がせる。付着部を多量の水又は微温湯で充分に洗浄し刺激が残るときは直ちに医師の手当を受ける。
吸引した場合	：	高濃度のガスを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気の場所に移し、毛布等で保温して安静にさせ、速やかに医師の手当を受ける。呼吸が止まっている場合または呼吸が弱い場合は衣服を緩め、気道を確保した上で人工呼吸を、場合によっては酸素吸入を行い、直ちに医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合	：	常温・常圧ではガスなので、通常の使用において飲み込むことは考えられない。

５．火災時の処置

消火剤	：	水、粉末、泡、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	：	情報なし
特有の危険有害性	：	加熱により容器が爆発する恐れがある。空気と爆発性混合気を形成する。火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生する恐れがある。静電気や火花等でガスに引火し、爆発する恐れがある。
特有の消火方法	：	周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移動する。移動不可能な場合は、容器の破損が生じないように注水し、冷却する。容器が破裂する恐れがあるので、冷却作業は充分な距離をとって行う。加熱により容器からガスが噴出した場合は、爆発の恐れがあるので安全な場所に退避する。大量の水を注水して冷却し、危険を伴なわず実施できる場合はガスの漏洩を止める。漏洩部を塞ぐ前に火炎を消してはならない。
消火を行う者の保護	：	消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。

６．漏出時の処置

風下の人を退避させ、付近の火気に充分注意するとともに、通風等により換気を良く行う。危険を伴わず実施できるときは、容器の漏洩部を塞いで漏れを止める。容器からの漏れが止まらない時は、開放された危険性のない場所に運び出し、放出する。大量に漏れた場合は近所の人を退避させ、漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして、人の立入りを禁止する。必要があれば、呼吸用保護具を着用する。

７．取扱いおよび保管上の注意

取扱い	：	噴射したガスは空気より重く滞留しやすい為、機器内部に使用した場合は、内部に溜まっているガスを完全に放出してから電源を入れる。静電気や火花等でガスに引火し、爆発する恐れがある。ごく弱いが麻酔性がある。また、液化ガスが皮膚に触れると、炎症や凍傷を起こす。閉め切った部屋で大量に使用しない。人体に使用しない。
保管	：	容器はたてて保管する。直射日光を避け、低温で換気の良い場所に保管する。乾燥した場所に保管し、湿気や水滴等による腐食を防止する。
安全な容器包装材料	：	国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

８．暴露防止および保護処置

管 理 濃 度 ： 設定されていない
許 容 濃 度 ： 日本産業衛生学会　設定されていない
ACGIH TLV　設定されていない
設 備 対 策 ： 室内での取扱いの場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くには安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明確に表示する。設備・換気扇等の電気設備には、防爆構造のものを用いる。
保 護 具 ： 呼吸用保護具、保護眼鏡、保護手袋等を必要に応じて使用する。

９．物理的および化学的性質

外 観 等 ： 無色透明液化ガス
臭 い ： やや甘味臭
p H ： 情報なし
融 点 ： －117.0℃
沸 点 ： －24.7℃
引 火 点 ： －50℃以下
爆 発 限 界 ： 3.7～18vol%
蒸 気 圧 ： 情報なし
蒸 気 密 度 ： 2.28～2.4（空気＝1、25℃）
比 重 ： 0.899（25℃）
溶 解 度 ： 水：0.28g/100g（25℃）
n-オクタノール／水分配係数 ： 0.75
自然発火温度 ： 455℃
分 解 温 度 ： 300～400℃以上

１０．安定性および反応性

安 定 性 ： 通常状態では安定である。
反 応 性 ： 情報なし
避 け る べ き 条 件 ： 情報なし
混 触 危 険 物 質 ： 情報なし
危険有害な分解生成物 ： 情報なし

１１．有害性情報

急 性 毒 性 ： 情報なし
皮 膚 刺 激 性 ： 皮膚を侵すことは少ないが、液体の状態で触れると凍傷の恐れがある。
刺 激 性 （ 眼 ） ： 粘膜等を刺激する。
感 作 性 ： 情報なし
生殖細胞変異原性 ： サルモネラ菌で陰性
発 が ん 性 ： なし
生 殖 毒 性 ： 情報なし
特定標的毒性／全身毒性（単回暴露） ： ウサギで麻酔作用の報告がある。
特定標的毒性／全身毒性（反復暴露） ： 情報なし
呼吸性呼吸器有害性 ： 情報なし

１２．環境影響情報

魚 毒 性 ： 情報なし
分 解 性 ： 情報なし
蓄 積 性 ： 情報なし
オゾン破壊係数 ： 0（CFC-11＝1）
地球温暖化係数 ： 124（CO_2＝1）

１３．廃棄上の注意

火気のない屋外で噴射音が完全に消えるまでボタンを押し、完全にガスを抜いてから廃棄する。

１４．輸送上の注意

国連分類　：　クラス２．１
国連番号　：　1950
陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法等の定めるところに従うこと。
海上輸送　：　船舶安全法の定めるところに従うこと。
航空輸送　：　航空法の定めるところに従うこと。

１５．適用法令

消防法　：　非該当
ＰＲＴＲ法　：　非該当
労働安全衛生法　：　令別表第１　危険物（可燃性のガス）
有機溶剤中毒予防規則　：　非該当
船舶安全法　：　危規則第３条危険物　高圧ガス
航空法　：　施行規則第１９４条危険物　高圧ガス
港則法　：　施行規則第１２条危険物　高圧ガス
輸出貿易管理令　：　非該当

１６．その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。